

なごやめしのルーツを探る

## モーニング

朝、喫茶店でコーヒーなどのドリンクを注文すると、トーストやゆで卵などが付くモーニングサービス。

その発祥は、昭和30年代前半。愛知県一宮市ではじまりました。当時、地場産業である繊維業を営む人々は仕事が忙しく、昼夜を問わず頻繁に喫茶店を訪れていました。繊維工場内は機械リ機の音がうるさい上に埃っぽいので、喫茶店を応接間代わりに利用していたのです。

そこで朝のサービスとして、コーヒーにゆで卵とピーナッツを付けたのがはじまりです。一宮市内にまたたく間に広がり、名古屋に伝わったと考えられます。

現在はドリンク代のみのモーニングサービスは少なくなり、150円〜250円程度の追加料金を払うモーニングセットが主流になりつつあります。



『喫茶モーニング』代表の市野将行さん

名古屋市中村区

## 喫茶モーニング

# 名古屋の喫茶店は生活の一部でありコミュニティの場

## 幼

い頃、両親とモーニングを食べに行った喫茶店で今でも鮮明に覚えている光景があります。それは、新聞を小脇に抱えたバジヤマ姿のおじさんです。名古屋の喫茶店は、自宅のリビングのようにリラックスできる、日常生活の延長線上にあると思うのです。

コーヒーだけを求めるのであれば、コンビニのコーヒーでも十分です。喫茶店へ足を運ぶのは、コーヒーだけではなくその時間や空間も楽しむためなのです。生活の中にティータイムを過ごすゆとりがあるからこそ生まれたのが、名古屋の喫茶文化だと思います。

今回紹介する『喫茶モーニング』の代表、市野将行さんは、30歳までに世界一周を2回、80カ国を訪問した旅人。店を始める前、100軒の喫茶店を巡ってモーニングを食べ歩く旅に出たそうです。

「地元の人々にとって喫茶店でのひときは、生活の一部であり、コミュニティの場であることを実感しました。そこで、あえて時間という枠を取り払って営業時間中ずっとモーニングを提供しようと思いました」と、市野さん。モーニングは、厚切りトーストと小倉トースト、サンドイッチ、バターチキンカレーからメインを選べる計4種類のセットを用意。すべてのセットにゆで卵とサラダ、ヨーグルトが付きまします。

今回注文したのは、ドリンク代に+150円で卵フィリングとハム、キュウリのサンドイッチがメインの「サンドイッチセット」。ポリウムがあるので、モーニングのみならずランチでも十分満足できます。何よりも喫茶店でまったりと過ごすことの楽しさをあらためて実感しました。

### 筆者Profile



フードライター&カメラマン 永谷 正樹

名古屋の食をテーマに、雑誌やネットメディアなどの取材・撮影を担当。なごやめしにまつわる講演やテレビ出演も多数。ブログ「永谷正樹のなごやめし生活」<http://nagoya-meshi.hateblo.jp/>を毎日更新中。



モーニングのみならずランチでも十分満足！

喫茶モーニング [店舗情報]

住所／中村区則武2-32-4  
TEL／052-451-2800  
営業時間／8:00～15:00(L.O.)  
定休日／火曜

